神戸新聞 2020年07月13日 月曜日 面名 夕二社 夕4 8ページ

アイヌ施設「ウポポイ」開業

北海道、観光のけん引役期待

アイヌ民族の文化の発信と継承、国民理解促進の拠点として北海道白老町のポロト湖畔に整備されたアイヌ文化施設「民族共生象徴空間(ウポポイ)」が12日、開業した。「先住民族アイヌ」をテーマとした初めての国立施設。政府は観光や地域振興のけん引役としても期待しており、年間来場者100万人を目指すとしている。運営を担うアイヌ民族文化財団は13日、開業日の入場者数を2068人と明らかにした。

12日のオープニングセレモニーで刀禰俊哉(とねとしや)内閣官房アイヌ総合政策室長は「アイヌの誇りが尊重される社会の実現に向けた施策の扇の要。愛される施設になることを祈念している」とあいさつした。

ウポポイ内の国立アイヌ民族博物館を訪れた北海道上ノ国町の米国人で外国語指導助手のギャレット・バルゴンさん(25)は「着物のデザインが豪華で印象に残った」と話した。

当初は4月24日に開業予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2度にわたって延期されていた。開業後は感染防止のため入場を事前予約制とし、平日は1日2千人、土日祝日は1日2500人程度に制限する。

博物館は民族衣装や工芸品など約1万点を収蔵し、うち約700点を展示している。延べ床面積約8600平方㍍で1階の大部分は研究室。2階の基本展示はアイヌが構成や解説に関わり、アイヌ語の資料や儀礼で使う祭具、1700年代の板綴(いたとじ)舟を紹介している。

アイヌ文化施設「民族共生象徴空間(ウポポイ)」が開業し、大勢の人たちを前に披露された踊り。後方は国立アイヌ民族博物館＝12日、北海道白老町

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

NIEワークシート／小学校高学年～高校／社会科・総合・朝NIE

名　前【　　】

① 記事の最初の部分を写し施設の意義を考えましょう。

ア	イ	ヌ	民	族	の						
		、									
				「							
	(					)	」				、
				。	「						
	」										
					。						

② アイヌ民族について知っていることを書きましょう。

また、調べてみましょう。